

淡座

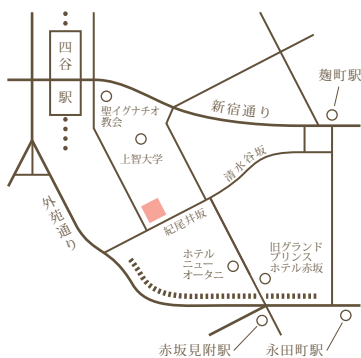
AWAI ZA

新 × 現代音楽

旗揚げ公演

東京公演
十二月二十八日 月曜日

宇都宮公演
十二月二十日 日曜日



於

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町六の五

紀尾井小ホール

電話 〇三ー五二七六ー四五〇〇

www.kioi-hall.or.jp

- 四ツ谷駅 (JR 線・丸の内線・南北線) 麹町口徒歩 6 分
- 麹町駅 2 番出口 (有楽町線) 徒歩 8 分
- 赤坂見附駅 D 出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩 8 分
- 永田町駅 7 番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩 8 分

於

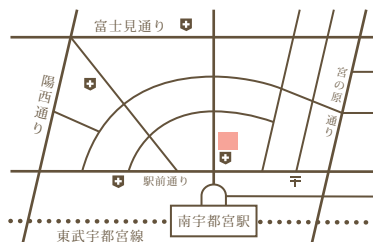
〒320-0838

栃木県宇都宮市吉野一の七の二〇

beoff

電話 〇二八ー六〇一ー二六二〇

www.beoff.org



- 南宇都宮駅 (東武宇都宮線) 徒歩 1 分
- 宇都宮駅 (JR 線) より関東バス「陽西通り経由鶴田駅行」に乗車、「南宇都宮駅前」下車徒歩 30 秒



淡座

AWAI ZA

旗揚げ公演

新×現代音楽

淡座(あわいざ)は二〇一〇年に結成された、作曲家と演奏家によるクリエイショングループです。その目的は「目に見えないもの、形のないもの」の重要性を伝えることであり、「目に見えないもの、形のないもの」とは言葉、思想、哲学、文化など、ひとの生活を豊かにするものだと考えます。そのために「江戸」という手段を用います。

江戸時代の人々は遊び心が旺盛で、人をあつりがなされてきました。また、江戸では火事が非常に多かつたため、後に残る「もの」だけではなく、形のない「もの」文化を大切にしていきました。このような江戸文化の独自の発想に学び、消化し、それを取り入れ、表現を行ないます。

記念すべき一回目の公演は、古典落語を取り上げます。ゲストに古今亭志ん輔師匠をお迎えし、江戸の古典落語と現代の芸術音楽の「あわい」を描きます。

公演内容

「反魂香」による新作(二〇一一年)

ヴァイオリン、チェロ、三味線

「反魂香」による新作(二〇一一年)

ヴァイオリン、チェロ、三味線

「芝浜」による新作(二〇一一年)

ヴァイオリン、チェロ、三味線、エレクトロニクス

日時・場所・料金

《宇都宮公演》

二〇一一年二月二〇日(日) 於: be of f

一回目 二時半開場 一三時開演

二回目 一六時開場 一六時半開演

一般、学生とも三〇〇〇円(全席自由)

《東京公演》

二〇一一年二月二八日(月) 於: 紀尾井小ホール

一八時半開場 一九時開演

一般四〇〇〇円、学生三〇〇〇円(全席自由)

(二〇一一年九月一日チケット販売開始)

主催・企画 淡座

構成・作曲・演出 桑原ゆう(淡座)

出演 古今亭志ん輔(噺家/ゲスト出演)

三瀬俊吾(ヴァイオリン/淡座)

藤井泉(チェロ/淡座)

本條秀慈郎(三味線/淡座)

エレクトロニクス 福島論

宣伝美術 川村祐介

制作 大阪良文

助成 財団法人アサヒビル芸術文化財団

後援 一般財団法人ヤマハ音楽振興会

桐朋学園芸術短期大学音楽専攻同窓会「桐の音

問い合わせ

《淡座》 awaiza.edd2010@gmail.com

〇三三七一九七八九三(三瀬)

《紀尾井ホールチケットセンター》

〇三三三三七〇〇六一(二〇時〜一八時、日・祝休)

古今亭志ん輔(噺家/ゲスト出演)

芸歴略歴
1972年3月 故古今亭志ん朝に入門。前座名「朝助」。
1977年3月 二ツ目昇進。
志ん朝の前名「朝太」を襲名。
1982年4月 NHKテレビ「おかあさんといっしょ」にレギュラーとして出演(1999年3月まで)。
1985年9月 真打昇進(古今亭志ん輔)を襲名。
2000年 NHK FM「名曲リサイタル」にパーソナリティとして出演(2003年まで)。新日本フィルハーモニー交響楽団とのファミリーコンサートが好評で、現在も進行中。その他オーケストラとのコラボレーションも多数。初高座 1972年4月、場所:池袋演芸場、演目:時そば受賞歴 国立新人落語会金賞・銀賞、ニッカン飛切落語会最優秀奨励賞
http://0874sinsuke.com



三瀬俊吾(淡座代表/ヴァイオリン・企画)



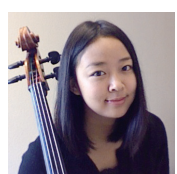
東京音楽大学卒業後、桐朋学園大学院大学修了。第一回横浜国際音楽コンクール弦楽器一般部門第1位。同コンクールより奨学金を得、パリ、エコールノルマル音楽院へ留学。同音楽院にて、マスタークラスや音楽院内の演奏会などに出演。定期的な千々岩英一氏の指導も受け、パリにてソロや室内楽、新作の演奏活動も行う。日本では「第一回室内楽・OTO三瀬俊吾のヴァイオリン」ともに「出演し7作品の新作演奏を行う。2010年帰国。2009年から毎年、名古屋、神戸、鎌倉、東京などでソロイタル開催。2010年に、世界中の現代作品を紹介している現代音楽グループ「Trom...」を結成。現在はソロや室内楽を中心に活動中。

桑原ゆう(淡座/企画・構成・作曲・演出)



1984年生まれ。2007年東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。2009年同大学大学院音楽研究科(修士課程)修了。第74、75、78回日本音楽コンクール作曲部門入選など。近年は特に言葉と音の関係性に興味があり、それを追究する作品づくりを行う。テナーリコーダーとアコーディオンのための作品《Doll-Blind》が Edition Wurm より出版されている。2009年度トキョーワンダーサイト国内クリエイター制作交流プログラムに選抜。これまで佐藤眞、久行敏彦、Hanspeter Kyburz、Lizalini、Chaya Czernowinの各氏に師事。
http://3shinat.com

藤井泉(淡座/チェロ)



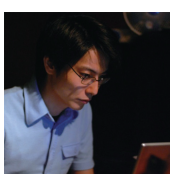
桐朋学園大学音楽学部を経て現在ドイツ国立トrossingen音楽大学ソリストコースに在学中。フランス・ストラスブールに師事。2002年、泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部に金賞受賞。サイトウキネン若い人のための室内楽勉強会、小澤征爾音楽塾に参加。2006年、第一回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクールin八王子にて日本人作品最優秀演奏賞受賞。2008年、全日本バハホールチェロコンクールにて第3位受賞。2009年第57回ドイツ国内音楽大学コンクールクラリネットトリオ部門にて特別賞受賞。これまでに千本博愛、倉田澄子、原田積夫の各氏に師事。

本條秀慈郎(淡座/三味線)



本條秀太郎師に師事し、俵奏楽本條秀慈郎の名を許され、唄、民謡、現代民族歌謡等研鑽を積む。津軽三味線を長谷川裕翔師に師事。桐朋学園大学短期大学部芸術科音楽専攻日本音楽専修卒業。同専攻科、研究生修了。在学中三味線を柘屋勝芳師、本條秀太郎師に師事。現代邦楽研究所修了。2005年第2回東京邦楽コンクール第1位。2009年第一回本條秀慈郎リサイタル(東京、宇都宮)ライナーノーツに演出家鎌川幸雄氏。2010年日本現代音楽協会主催コンチェルトの夕べにて山下史氏指揮、桐朋学園オーケストラと大家百子氏作曲三味線協奏曲を初演等国内外で演奏。大河ドラマ「江」龍馬伝等TV、ラジオ、映画等に携る。2011年四月より桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

福島論(エレクトロニクス)



1977年新潟生まれ。IASMAS(岐阜県立情報科学芸術大学院大学)修了。2002年よりリアルタイム音響処理を用いた作曲作品を多数発表。2006年第一回AACサウンドパフォーマンス道場優秀賞。また、2003年よりMimiz(みづ)のメンバーとしてリアルタイム音響処理と様々な要素を組み合わせた階層的即興演奏を行い国内外で発表している。2006年アルスエレクトロニカ、デジタルミュージック部門において Mizuzとして Honorary Mention を受賞。作曲を三輪眞弘氏に師事。